

【担当教員名】 西野 幾子、山田 まりえ	対象学年	4	対象学科	理学
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

解剖学Ⅲは、4年後期に実施される。既に、臨床実習を全て終えているので、卒業に当たって改めて解剖学全般を振り返り、その理解を確実にする。特に一年次に系統別に学んだ解剖学の知識の相互関係を理解する。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】 ※行動目標（SBO）として記述する場合はSBO番号を付記すると共に、下のSBO番号欄に該当する番号を記入して下さい。

1. 全身の主な関節・靭帯の位置と特徴を説明できる。
2. 上肢・下肢の筋、神経支配の概略を説明できる。
3. 循環器系、消化器系、呼吸器系、感覚器系、内分泌系を構成する臓器の名称・位置・主な機能を説明できる。
4. 脳と全身の主な神経、および伝導路を説明できる。

回数	授業計画又は学習の主題	※SBO番号欄は該当する行動目標(SBO)の番号を記入して下さい。(必要に応じ縦線を引いて下さい。)	
		SBO番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	骨と関節・靭帯 全身の主な骨格、関節、靭帯の概説	1	講義
2	筋学 上肢・下肢の筋、神経支配の概説とテストの実施	2	〃
3	消化器と泌尿器 消化器および泌尿器の概説とテストの実施	3	〃
4	呼吸器と循環器 呼吸器および循環器の概説とテストの実施	3	〃
5	感覚器と内分泌系 感覚器および内分泌系の概説とテストの実施	3	〃
6	脳と神経1 脳および神経の概説とテストの実施	4	〃
7	脳と神経2 神経および伝導路の概説とテストの実施	4	〃

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書				
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 出席状況・態度、小テスト、筆記試験の総合評価	【履修上の留意点】 毎回模擬テストを実施します。総合評価にいられますので、欠席をしないよう注意すること。教科書は指定しませんが、必要に応じて1年次の解剖学を持参すること。
----------------------------------	--